

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 修徳地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】 月～金 午前8時30分から午後5時30分 休業時間・休業日は、日直者・宿直者が対応。 緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。 【事業実施地域】 下京区：永松、開智、豊園、成徳、有隣、修徳、尚徳学区
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

(1) 総合相談支援業務 ・地域におけるネットワークの構築 ・単身高齢者世帯の全戸訪問活動の実施と地域での見守りネットワーク構築・支援 ・地域ケア会議（主にⅠ、Ⅱ地域ケア会議）の継続的な開催と関係者の資質向上支援 ・地域課題・ニーズに対応した医療をはじめとする多職種ネットワークの充実・強化 ・支援事例の蓄積等による地域の強み・課題等の抽出及び整理 (2) 権利擁護業務 ・認知症高齢者等及びその家族への支援 ・認知症の人や家族に対する支援体制の構築 ・高齢者虐待、困難事例、消費者被害への対応 ・高齢者虐待等への早期発見・発生予防の取組 ・高齢者虐待等の早期発見・見守りネットワークの構築 (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 ・医療機関との連携体制の構築 ・地域における在宅医療・介護連携拠点の活用と協働 ・介護支援専門員とのネットワークの構築・支援 ・サービス事業者と居宅介護支援事業者との連携体制の構築 ・介護支援専門員への個別支援、資質の向上 ・地域資源（生活支援サービス等）の把握・分析や情報共有、関係機関との協働によるサービス創出に向けた取組 (4) 介護予防に係るケアマネジメント ・個性や個性を重視した適切な介護ケアマネジメントの実施 ・支援を要する高齢者の把握及び介護予防活動につなげる取組 ・介護予防の普及啓発 (5) その他 ・チームアプローチの確立 ・専門職会議や職員研修を通じた職員の資質向上 ・地域住民に対する広報
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

【職員体制】 主任ケアマネジャー1名、保健師1名、社会福祉士1名、ケアマネジャー1名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業に事業を委託する場合は、以下の考え方に従って業者選定をしています。

委託への考え方

- (1) 業務内容が専門的な知識を必要とし、かつ施設内の職員では対応が困難な業務の場合。
 - (2) 法人が専門的に行う業務ではないため、専門に行う業者のほうがより効率的に、かつ質の高いものを提供できると判断できる場合。
 - (3) 業務内容は簡易であるが、行う人材を集めることが容易でない場合、その業務を行える人材を集めることに特化した業者がある場合。
- また、備品購入等の発注については、市内の業者を優先して活用しています。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

1,516 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

403 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

委託料	21,739,918
介護保険収入	7,625,814
その他	203,909
収入計	29,569,641

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	20,943,628
事業費	1,325,988
委託費	1,757,002
小額修繕費	7,480
その他	1,494,136
支出計	25,528,234

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

2023年2月1日～2023年3月15日にかけて、介護予防支援給付管理利用者を対象に実施。アンケート葉書を訪問時に直接お渡しして郵送していただくよう配布しています。

(2) 利用者満足度把握の結果

- ①担当相談員は相談しやすいか。
「何でも相談できる」75% 「だいたい相談できる」23% 「あまり相談できない」2%
「その他」0% 「無回答」0%
- ②苦情があるとき、相談員に話すか。
「何でも話す」68% 「だいたい話す」28% 「あまり話さない」2%
「その他」2% 「無回答」2%
- ③担当相談員の説明は分かりやすいか。
「よく分かる」73% 「だいたい分かる」21% 「あまり分からない」2%
「その他」2% 「無回答」2%
- ④その他、要望・意見・質問など。
・悩みを相談するとなら先に友人に相談するので…
・聞いたことしか返答がない
・私の聴力が悪いのでお声が小さいのが少し残念です。今補聴器の準備中です。
・いつも助けていただき喜んでいきます。
・親切にしてくださりありがとうございます。
・●●様（担当者）はいつもお優しくお気遣いいただき感謝しています。
・いろんな方面での相談ができ、とても感謝です。
・親切にしてくださり頼りにしています。
・大変親切にこちらのことを考えてもらっています。

(3) 意見等への主な対応状況

意見に対して良い意見と改善を要する意見があります。各担当者で対応方法等がどうなのかを振り返りをして利用者満足度を向上できるように各職員に伝達しています。

7 その他特記事項

(1)

一年間を振り返ると今年度も新型コロナウイルス蔓延の影響から積極的な関わりやイベントの開催は残念ながらできない一年でした。自宅訪問も極力避け必要に応じて行い、おもに電話での状況確認が多かった一年でした。特に自施設でもクラスターが発生したことや部署内での感染者が発生したことで事業運営に支障がでていました。

社会の感染状況を考慮しながら修徳のほほんカフェや下京権利擁護ネットワーク事業、認知症サポーター養成講座（生命保険会社で開催）、修徳学区社協と共同にていきいき相談会、豊園学区では地域のお楽しみサロンの開催、地域ケア会議（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ：書面開催と対面開催）等可能な限り各関係機関と協力しながら事業運営を行いました。

事業運営に関しては、会議内で収支バランスについて議題に挙げて意識づけを行い、今年度も適正に運用できたと評価しています。今後も事業の継続・発展ができるよう更に努めて参ります。

8 評価（指定管理者自己評価）

利用状況は給付管理+ケアマネジメント月平均130件を目標としていたが、128件と及ばず。収入は前年度より約450千円増加しているのに対して、収支差額は+4245千円と前年より20千円程度の増加です。これはコロナ禍で中止していた活動少しずつでもを再開したことによる経費支出が増えているためだと考えられます。